

MEXCBT 問題共有バンク運用ルール

○ 目的

MEXCBT 事業の目的の 1 つに、地方自治体間の問題の共有促進を図り、普段の授業や家庭学習及び地方自治体が実施する学力調査等（以下「地方学調等」という。）において、豊富な問題コンテンツの中からそれぞれのニーズに合った問題を選択し、活用できるようにすることが挙げられる。

MEXCBT 問題共有バンク（以下「共有バンク」という。）は上記の目的を実現するため、MEXCBT を利用する地方自治体等の学校設置者（以下「地方自治体等」という。）の間において、それぞれが作成した CBT 問題を共有できるようにするものである。

○ 概要

共有バンクは国の機関と地方自治体等に限定的に公開されており、地方自治体等が作成した問題を他の地方自治体等と共有するために登録できるとともに、登録されている他の地方自治体等が作成した問題を利用することができる。

登録された問題を利用する場合は、登録された内容をそのまま利用できるほか、登録者が作成した問題内容を一部変更して独自の問題とすることもできる。

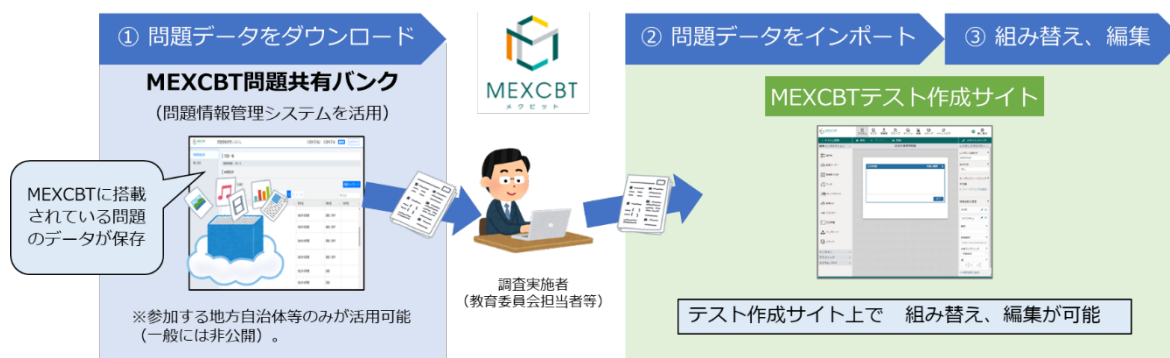
これにより、MEXCBT を利用する地方学調等の問題作成の負担軽減を図ることが可能となる。

○ 利用方法

- ① 共有バンク（問題情報管理システム）から登録されている他自治体等が作成した問題データをダウンロードする。

※ 共有バンクは、国の機関と同意した地方自治体等のみが活用可能。

- ② MEXCBT のテスト作成サイトにダウンロードした問題データをインポートし、テスト作成サイト上で編集する。



○ MEXCBT 問題共有バンク利用における確認（同意）事項

I. 問題の搭載（コンテンツ提供）における確認事項

- 令和6年4月1日以降に搭載・提供するコンテンツの問題データが、国や他の地方自治体等において利用・編集をされることを了承します。

問題データ：テスト作成サイトで作成できる MEXCBT に搭載可能な QTI（Question & Test Interoperability）規格の zip ファイル。
問題文のテキストデータや表示される全ての画像等のデータ、表示等の設定に係るデータも含まれる。

- 搭載・提供するコンテンツは、全国の児童生徒や教員がアクセスする MEXCBT や文部科学省が管理する MEXCBT 運用支援サイト等のホームページで公開するための必要な著作権に係る手続き等が完了していることを確認しており、不備があった場合など権利関係等で事案が生じた場合は問題の提供元として適切に対応します。

※ コンテンツに使用する引用文や写真、図、イラストの著作権や肖像権については、公開申請までの間に MEXCBT での配信及び実施に係る利用許諾を取得済であること、または、自身が著作権を有するものであることを確認することが必要です（第三者の著作権、肖像権、商標権、名誉その他の権利・利益を侵害せず、また合法的なものであることを確認）。

※ 実施した地方学調等の問題に搭載者と著作権者との取り決め等により公開範囲や時期が限定されているコンテンツがある場合は、問題を限定公開として搭載した上で地方学調等を実施し、実施後1か月以内を目途に全体公開可能なかたちとした問題を別途 MEXCBT に搭載することを原則とします。

※ 出典が明記されていない著作物は搭載者が権利を有するものとして、内容を編集される場合があります。特に、編集ができないものについては、出典を記載してください。

- 搭載・提供するコンテンツで、個人情報を取得しません。

※ 個人情報には、氏名や生年月日等により特定の個人を識別できる情報のほかに、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものも含まれます。例えば、学年・組・出席番号等の属性を児童生徒から取得する場合には、状況によって個人情報の取得に当たる可能性があります。

- 搭載・提供するコンテンツについては他の地方自治体等が検索しやすいように、可能な限りメタ情報を付与します。また、文部科学省からメタ情報の付与について特段の指示があった場合には、当該メタ情報を必ず付与します。

メタ情報：共有バンクにおいて設定する問題の属性。その問題の作成者、
発刊年、教科・履修学年の分類などの情報。

- 作成したコンテンツを特段の事情で提供できない場合は、文部科学省に相談の上、「グループ限定公開」としてのみ掲載します。

※ IRT 分析を実施する予定の非公開問題等を想定しています。単に地方学調等の実施期間において非公開とすべき問題である場合は、実施後1か月以内を目途に全体公開することを原則とします。

IRT：項目反応（応答）理論。IRT 分析を行う調査を実施する場合には、妥当性を保つために、通常、問題を非公開にし続ける必要がある。

Ⅱ．コンテンツ利用における確認事項

- 共有バンクに掲載されている他の地方自治体等が作成した問題を編集し、別の問題を作成する場合、当該編集後のコンテンツを共有バンクに提供します。あわせて、共有バンクにおいて、編集の素材として利用したコンテンツを申告します。

※ 本運用ルールへの同意をもとに共有される問題は、令和6年4月1日以降に地方自治体等が掲載した問題のみです。文部科学省やその他の機関が作成した問題は含まれません。全国学力・学習状況調査等の文部科学省が作成した問題を使用したい場合は、教育DX推進室を通じて担当部署に別途手続きを行う必要があります。

- 共有バンクに掲載されている問題を利用する場合は、原則として、出典を明示します。

〔例〕「令和□年度□□県学力調査問題を一部編集」等利用したコンテンツが特定できる記載

- 利用するコンテンツに出典が記載されている場合には、その問題を編集した後も、出典は記載したままとします。

- 利用するコンテンツの提供元の地方自治体等から利用や編集に関する質問等を受けた場合に、誠実に対応します。

Ⅲ．文部科学省による問題と解答データの取扱いにおける確認事項

- 共有バンクに掲載されている問題とその解答結果等に関して、文部科学省及び関係機関が、システムの改善や施策の推進のために分析等の活用を行うことを了承します。